

令和 7 年度 第1回豊橋市図書館協議会 会議要録

日時	令和 7 年 6 月 5 日（木） 10:30～11:50
場所	豊橋市中央図書館 集会室
委員	出席定数12名 11名出席
事務局	8 名
議事	議題 （１）会長、副会長の選任について 報告事項 （１）令和 6 年度図書館利用状況（速報値） （２）令和 7 年度豊橋市図書館資料収集方針 （３）令和 7 年度主要事業 （４）子ども読書活動推進計画 後期アクションプラン策定計画
配付資料	議題 （１）会長、副会長の選任について 報告事項 （１）令和 6 年度図書館利用状況（速報値） （２）令和 7 年度豊橋市図書館資料収集方針 （３）令和 7 年度主要事業 （４）子ども読書活動推進計画 後期アクションプラン策定計画

<議事概要>

議題

会長、副会長の選任について

（事務局）

本日の会議は、委員の半数以上の出席があり、会議は成立している。

「豊橋市図書館規則」第27条第1項に「会長及び副会長各 1 人を置き、それぞれ委員の互選により定める」となっている。この規定に基づき会長及び副会長の選出をお願いする。発言をお願いする。

【委員】

青嶋委員を会長に、谷委員を副会長に推薦する。お二人とも図書館協議会委員としての経験も豊富で適任だと考えるが、委員の皆さま、いかがか。

(全員拍手にて了承)

(事務局)

全員から拍手を頂き、ご賛同を頂いた。

以上により、第22期の豊橋市図書館協議会の会長を青嶋委員に、副会長を谷委員に選任するものとする。以降、会長が議長となって議事の進行をお願いする。

報告事項

(1) 令和6年度図書館利用状況(速報値)

事務局より、配付資料に基づき説明。委員より以下の意見があった。

<質疑応答>

【委員】

利用状況について令和2年度から令和6年度までの数値である。コロナ以前から今の利用状況がどう変わったかを示してほしい。

(事務局)

後日お示しする。

【委員】

入館者数や貸出人数は増えているが、貸出冊数がわずかに減っていることについて原因は考えられるか。

(事務局)

原因については分からないため、勉強していく。

【委員】

中央図書館とまちなか図書館を比較すると、まちなか図書館は入館者数が多いが、一方で中央図書館は貸出人数・冊数が多い。理由をどう考えているか。年齢層が違うとか目的が違うとかがあれば教えて欲しい。

(事務局)

まちなか図書館は、駅前に立地しており、学生が多く、本の貸出というより、会話を楽しんだり、学習したりすることを目的に利用されているため、入館者が多いと考えている。

【委員】

図書館の機能として本を貸す機能だけでなく、場を提供する機能があるので、入館者が多いことはいいことだと思う。

【委員】

この利用状況の数値で表しきれしていない価値を表現することはできないか。難しいと思うが、それぞれの図書館の意義、目的、価値について新たな切り口で、表現してくれるといいと思う。

(事務局)

現段階でお示しすることは難しいが、それぞれの館長が集まる会議などで検討したい。

(2) 令和7年度豊橋市図書館資料収集方針

事務局より、配付資料に基づき説明。各委員より、意見・質問なし。

(3) 令和7年度主要事業

事務局より、配付資料に基づき説明。委員より以下の意見・質問があった。

【委員】

しかけ絵本の展示は、絵本を広げる様子を動画にしてあり、楽しめよかった。

【委員】

企画については、どのように行っているか。

(事務局)

まず職員が提案し、企画会議でより良いものにして決めている。しかけ絵本の展示の動画については、職員が、絵本が開くところの映像を撮影したり、音楽も本にあわせて選曲して作成した。

(4) 子ども読書活動推進計画 後期アクションプラン策定計画

事務局より、配付資料に基づき説明。各委員より、意見・質問なし。

その他、図書館の取り組みについてについて

委員より以下の意見・質問があった。

【委員】

利用者の声をどのように反映させているか教えて欲しい。

(事務局)

企画ごとに参加者にアンケートに回答いただいて、次回の企画に活かしている。

【委員】

大学では、学生にこういう本が欲しいという意見を出してもらって、それが大学の方でも妥当と判断すれば掲示板に貼っており、大学と利用者の間でインタラクティブな関係を構築している。

【委員】

図書館の活用としては2つあると考えている。一つは、学習センターとして、調べ学習をすることや、読書感想文の講座が考えられる。学校でも図書館を利用する児童を増やしていきたい。

また、読書を好きな子どもを増やしたいと考えている。赤ちゃん絵本講座や読み聞かせは素晴らしいと思っている。子どもが読書を好きになる環境をしっかりと作ってほしい。

【委員】

こども若者支援の活動の中で、AIが浸透している。学校から帰宅後、話をあわせてくれたり、傷つけることを言わないからということで、チャットGTP を利用している生徒がいる。AIにはない本の魅力がどこにあるか伝えていく必要があると考えている。

中央図書館とまちなか図書館で特色が異なるため、目的に合わせて情報発信やアンケートも分けて行うといいのではないかと。

(事務局)

中央図書館を改修するにあたり、守るべきものは守りながら、より多くの方に利用いた

だくようにしていきたいが、ハード面だけでなく、ソフト面も含めいただいた提案を検討していきたい。

【委員】

小学校と協力して、アプリを実証実験させてもらうことになった。AIを活用しながら、紙の本を読むことが好きになる事業である。紙の本を読むスタイルが浸透すればと思って
いる。読書は心づくりだと思い、いい結果が出ていけばいいと思う。

(事務局)

実証実験を注視していきたい。

【委員】

海外に行くと、蔵書を中心とするクラシックな図書館とキッチンから音楽スタジオやワークショップのできる会議室があるモダンな図書館とすみ分けされている。豊橋では、前者が中央図書館、後者がまちなか図書館だと思うが、今後もすみ分けがされるといいと思う。

日本はデジタル教科書導入であたふたしている。一方で、北欧ではデジタル教科書を導入していたが、特に初等教育において、紙の書物を読むスタイルに戻っているところもある。

我々大人は、ほとんどパソコンの画面を見ているが、インターネットでは得られないものがあると図書館はアピールして欲しいと思う。大学でも学生はパソコンを持ち歩いているが、図書館で本を読みに来るということは、紙の本を求めていると思う。

【委員】

読み聞かせを通して紙の絵本に触れることがいいと思う。